

株主の皆さまへ

第41期報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



株主の皆さまへ

■ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第41期報告書（2018年4月1日から2019年3月31日まで）をお届けし、事業の概況等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易戦争の影響による中国経済の大幅な落ち込みや、堅調が続いていた米国経済に減速の影が見られるなど、不透明感が強まる展開となりました。

また、これまで緩やかな回復が続いていた日本経済についても、中国経済の成長鈍化などにもない輸出や生産の一部に弱さが見られるなど、減速感があらわれました。

半導体業界におきましては、メモリー価格の下落やスマートフォン需要の減速などにより下半期以降、市場は大きく低迷しました。また、米中貿易戦争の長期化により企業心理は一段と悪化し、未だ回復の見通しは不透明な状況です。

このような状況のもと、当社グループは現在の厳しい市場環境を変革の時ととらえ、市況の回復と同時に収益力の向上につながるよう、徹底的なコストの見直しを行いました。また、レーザ加工装置事業を行うオムロンレーザーフロント株式会社の株式取得

による子会社化およびシンガポールのEMS企業であるKINERGY社の子会社より中国金型製造事業の譲り受けと同事業を行う子会社を設立するなど、「TOWA10年ビジョン」の達成に向けた経営基盤の強化を着実に進めてまいりました。これらの取り組みに加え、2018年12月から2019年1月にかけて開催したプライベートショーでは最新の設備や、コア技術を応用展開した受託加工、ナノテク、コーティングなどの新規事業分野の具体例の紹介、さらに「ゼロディフェクト」や「金型レーザークリーニング」といったモールドング市場に新たな変革をもたらすコンセプトの紹介を行い、国内外の多くのお客様より高い評価をいただきました。

なお、当事業年度の期末配当金につきましては、2019年5月13日開催の取締役会にて、前事業年度と同じく1株当たり16円の配当を行うことを決議しております。なお、中間配当金を見送りとさせていただきますので、年間の配当金は1株当たり16円となります。

今後とも、株主の皆さまのご期待にお応えいたすべく、グループ一丸となって邁進していく所存でございますので、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 岡田博和

2019年6月

第41期の概況と今後の見通し

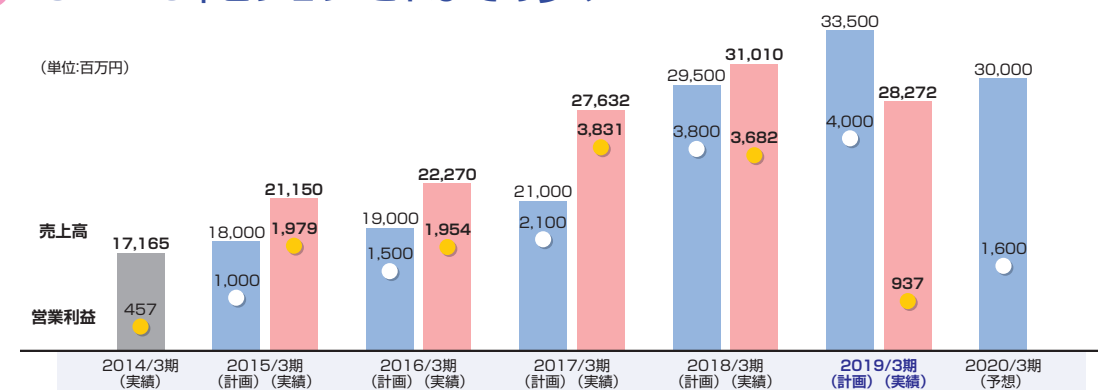
左頁で述べました取り組みの結果、当連結会計年度における売上高は282億72百万円（前連結会計年度比27億38百万円、8.8%減）、営業利益9億37百万円（前連結会計年度比27億45百万円、74.6%減）、経常利益9億39百万円（前連結会計年度比26億円、73.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益8億77百万円（前連結会計年度比21億48百万円、71.0%減）となりました。

今後の見通しですが、これまで半導体市場を牽引してきたメモリーやスマートフォン需要の減速により、足元の市場は低迷しております。また、米中貿易戦争の長期化などにより見通しは不透明な状況で、上半期は厳しい状況が続くと予想しております。しかしながら、次世代通信規格（5G）の商用化が米国や韓国などの一部地域で始まり、国内でも大手通信会社に対する電波の割り当てが決定されるなど、5Gの本格展開は目前に迫っております。また、あらゆるモノがネットにつながる「IoT」、人工知能（AI）、自動運転などにより、下半期以降の半導体需要は回復するものと予想しております。

この様な状況のもと、当社グループは市況の回復時に大きく収益力を向上させるため、グループ一丸となり、コスト削減にとどまらない生産・開発体制の全般的な見直しを行ってまいります。また、「難しい」ではなく「面白い」、「出来ない」ではなく「やってみよう」、「時間がない」ではなく「時間をつくろう」といった発想の転換により、何事にも前向きに取り組み高い目標を達成できるよう、「TOWA禁句3原則」を提唱し徹底的な企業体質の変革を行ってまいります。

以上のことから、当社グループの次事業年度の連結業績につきましては、売上高300億円、営業利益16億円、経常利益16億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億65百万円を予想しております。

TOWA 10年ビジョン これまでの歩み



第1次中期経営計画

第2次中期経営計画

2020/3期の数値は2019年5月13日公表の連結業績予想値です。

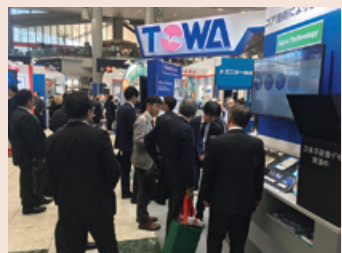
生産力強化 中国の新会社が金型事業譲り受け

2018年10月に設立した東和半導体設備(南通)有限公司(中国江蘇省)が、11月1日に精技電子(南通)有限公司(シンガポールのEMS企業であるKINERGY社の子会社)から金型製造事業を譲り受けました。同社から移籍した約100名の従業員がTOWAグループの一員となりました。当面は同社の工場を賃借して金型製造事業を行います。当社は将来を見据えて9月に中国南通市政府と投資契約を締結しており、めっき処理を含めた金型の一貫生産が可能な事業用地約37,000㎡を確保しております。新工場が完成すれば、中国にTOWA-SZO(蘇州)と並ぶ新たな製造拠点が誕生します。



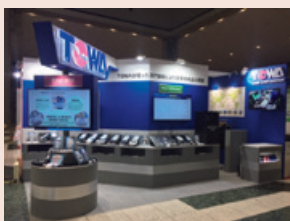
取引機会の拡大 JIMTOF 2018に出展

2018年11月1日から6日までの6日間、東京ビッグサイトにて開催されたJIMTOF 2018に出展しました。この展示会は2年毎に開催され、最先端技術がいち早く発表される場として世界各国の業界関係者に注目されています。今回の出展社数は1,085社、来場者数は15万人以上で過去最多となり、たいへん盛況でした。当社は、高硬度材向け超硬エンドミルやリフレクター金型、バンセラコーティングしたレンズブロックなどを展示しました。また、3D



用樹脂レンズによる空中映像のデモを実施しました。当社ブースへの来場者数は約500名で、そのうち海外からの来場者が3割強を占め、グローバルな営業活動を進めるうえで貴重なご縁となりました。

今回の展示会を通じて、当社が半導体以外の業種においても高い技術を保有していることを多くの方々に知っていただくことができた実感しております。これを機会に受注拡大に努めてまいります。



TOWA韓国が雇用創出優秀企業に選定

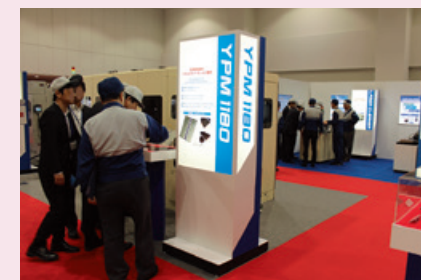
2018年12月、TOWA韓国が忠清南道(行政区)から雇用創出優秀企業として認定されました。また、韓国政府の雇用労働部からも雇用創出有功企業として褒賞を受けました(右写真は雇用労働部からの表彰状です)。

いずれも厳正な審査を経て、経営の健全性、雇用拡大、雇用環境改善などに力を入れている模範的企業に与えられるものであり、多くのマスコミでも報道され、TOWA韓国の取り組みを地域社会に広く知っていただく機会となりました。「政府と地域に認められた企業」としてイメージアップが図れ、今後優秀な人材の確保や営業力強化に結びつくよう努力してまいります。

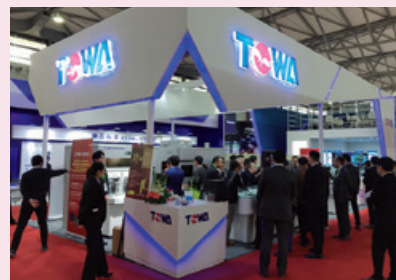


本場でプライベートショー開催

2018年12月初めから約2ヵ月間、2年ぶりとなるプライベートショーを本場で開催しました。お客様や証券会社、銀行、仕入先など218社638名の方にお越し頂き、盛況のうちに終わることができました。今回は「挑戦と飛躍」をテーマに、過去最多となる10機種の実機展示に加え、ゼロディフェクト、レーザ加工、新事業、TEN-Systemといった最新の取り組みや技術について紹介を行いました。来訪者からは、当社の充実した技術に強い期待をいただきました。これを今後のビジネスにつなげていけるよう営業活動に励んでまいります。



セミコンチャイナ2019(上海)に出展

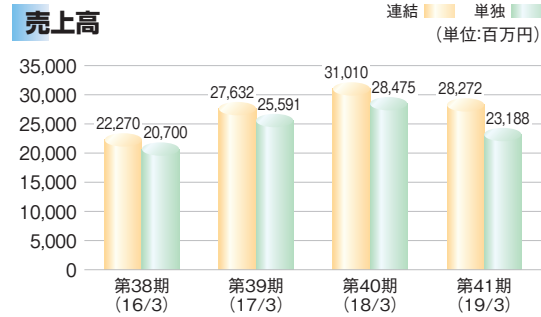


2019年3月20日から22日まで、上海の新国際博覧センターで開催されたセミコンチャイナ2019に出展いたしました。300名を超える方々にご来訪いただき、当社の装置および技術への関心と期待の高さが伺えました。

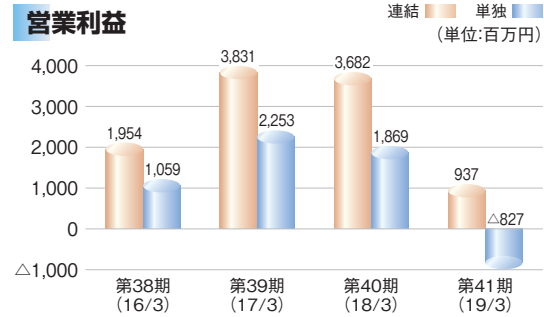
2台の装置(CPM1080、FMS3040)を展示するとともに、今回初めて東和半導体設備(南通)有限公司の金型製作を紹介しました。新規顧客からの商談や既存顧客からの発注のご意向を多くいただき、今後の更なる中国市場の拡大を感じる出展となりました。

業績の推移

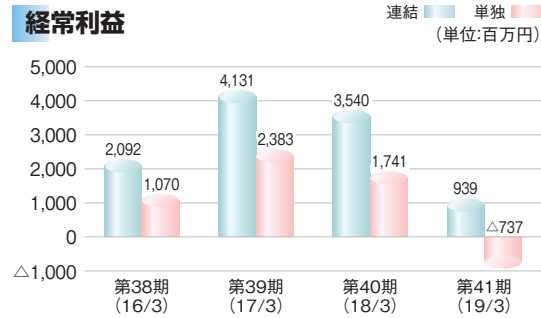
売上高



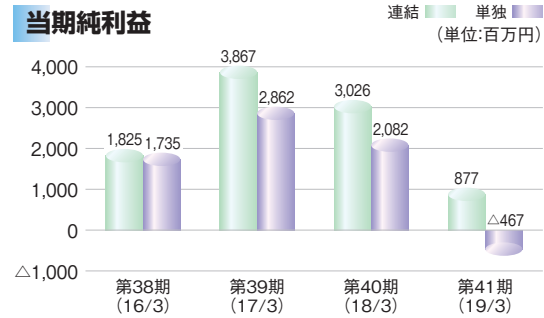
営業利益



経常利益

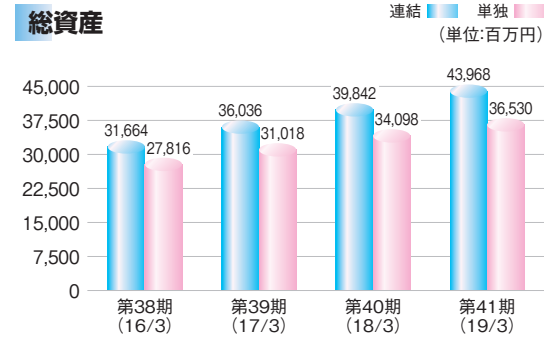


当期純利益

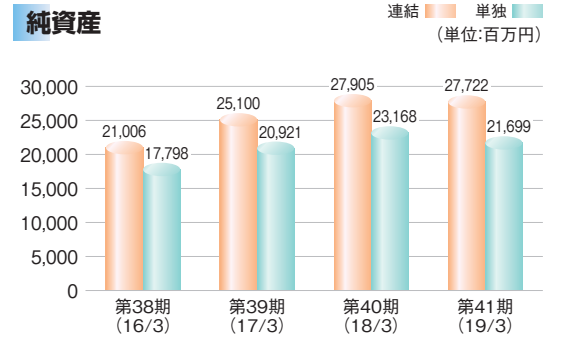


(注)連結については、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しております。

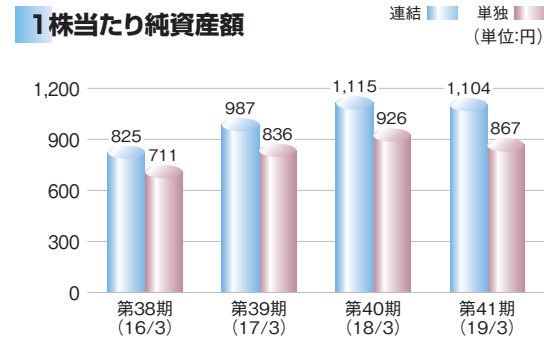
総資産



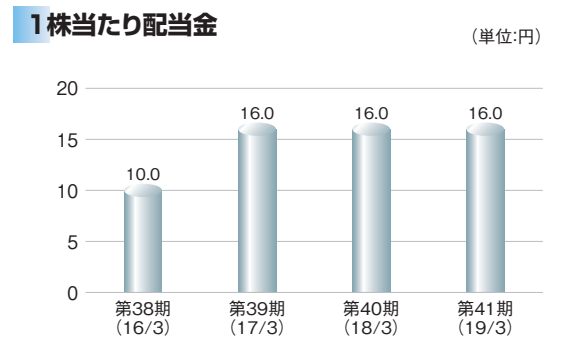
純資産



1株当たり純資産額

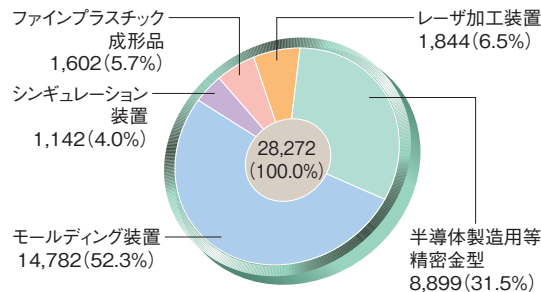


1株当たり配当金

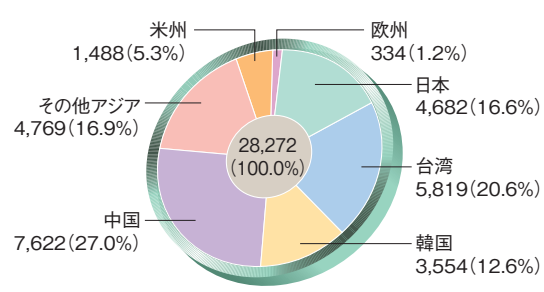


[セグメント別連結売上高 (第41期)]

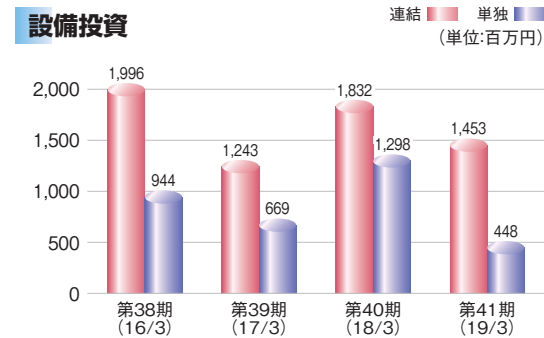
製品別 (単位:百万円)



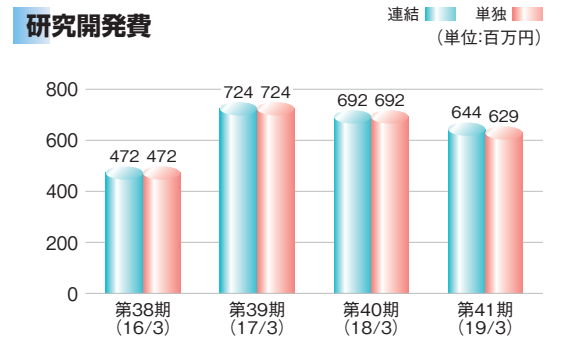
地域別 (単位:百万円)



設備投資



研究開発費



決算概要

連結貸借対照表 (2019年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	26,835
現金および預金	7,651
受取手形および売掛金	9,352
電子記録債権	188
たな卸資産	8,282
その他	1,362
固定資産	17,133
有形固定資産	12,117
建物および構築物	3,921
土地	4,366
その他	3,830
無形固定資産	657
投資その他の資産	4,358
資産合計	43,968

(注) 当期の連結子会社は15社であります。

連結損益計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
売上高	28,272
売上原価	21,285
売上総利益	6,986
販売費および一般管理費	6,049
営業利益	937
営業外収益	219
営業外費用	216
経常利益	939
特別利益	68
特別損失	11
税金等調整前当期純利益	997
法人税・住民税および事業税	443
法人税等調整額	△ 316
当期純利益	870
非支配株主に帰属する当期純損失	7
親会社株主に帰属する当期純利益	877

科目	金額
【負債および純資産の部】	
流動負債	11,485
支払手形および買掛金	1,631
電子記録債務	953
短期借入金	5,500
一年以内返済予定長期借入金	910
その他	2,491
固定負債	4,759
長期借入金	4,086
その他	673
負債合計	16,245
株主資本	26,099
資本金	8,932
資本剰余金	462
利益剰余金	16,715
自己株式	△ 11
その他の包括利益累計額	1,516
その他有価証券評価差額金	1,417
為替換算調整勘定	53
退職給付に係る調整累計額	45
非支配株主持分	106
純資産合計	27,722
負債・純資産合計	43,968

連結キャッシュ・フロー計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,580
現金および現金同等物の期末残高	7,626

連結株主資本等変動計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2018年4月1日 期首残高	8,932	462	16,238	△ 11	25,622
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 400		△ 400
親会社株主に帰属する当期純利益			877		877
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	477	△ 0	477
2019年3月31日 期末残高	8,932	462	16,715	△ 11	26,099

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
2018年4月1日 期首残高	2,017	153	112	2,282	—	27,905
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△ 400
親会社株主に帰属する当期純利益						877
自己株式の取得						△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△ 600	△ 99	△ 66	△ 766	106	△ 659
連結会計年度中の変動額合計	△ 600	△ 99	△ 66	△ 766	106	△ 182
2019年3月31日 期末残高	1,417	53	45	1,516	106	27,722

会社の概要

商号	TOWA株式会社 (英文名TOWA CORPORATION)		
設立	1979年4月17日		
資本金	8,932,627,777円		
本社所在地	京都市南区上鳥羽上調子町5番地 ☎(075) 692-0250(代表)		
従業員数	512名(単体)	1,517名(連結)	
役員	代表取締役社長	岡田博和	
(2019年6月27日現在)	取締役常務執行役員	浦上浩	
	取締役常務執行役員	田村吉住	
	取締役上席執行役員	石田耕一	
	取締役常勤監査等委員	小林久芳	
	社外取締役監査等委員	桑木肇	
	社外取締役監査等委員	和氣大輔	
	上席執行役員	早坂昇	
	執行役員	蒲生喜代重	
	執行役員	高瀬慎二	
	執行役員	鈕方舜	
	執行役員	韓相倫	
	執行役員	柴原信隆	
ホームページ	http://www.towajapan.co.jp		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年		
定時株主総会	毎年6月		
基準日	株主総会権利行使および期末配当	3月31日	
	中間配当	9月30日	
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部		
郵便物の郵送先および 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 ☎0120-288-324(フリーダイヤル)		
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)		
公告方法	電子公告の方法により行います。但し、 やむをえない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞 に掲載します。 公告掲載URL http://www.towajapan.co.jp		

株式の状況 (2019年3月31日現在)

●発行可能株式総数	80,000,000株
●発行済株式の総数	25,021,832株
●株主数	11,104名
●大株主	

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,522 千株	14.08 %
株式会社ケイビー恒産	2,000	8.00
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	1,880	7.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	936	3.74
蒲生徳子	718	2.87
株式会社京都銀行	699	2.80
株式会社エヌレガロ	600	2.40
坂東幸子	510	2.04
TOWA社員持株会	343	1.37
JP MORGAN CHASE BANK 385151	330	1.32

(注1) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社および日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数は信託業務に係るものです。

(注2) 持株比率は、自己株式(12,526株)を控除して計算しております。

TOWAグループ (2019年3月31日現在)

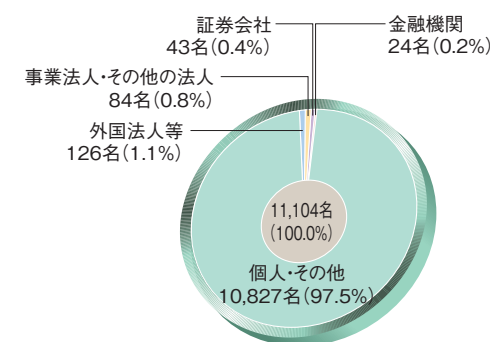
国内

TOWA株式会社
本社・工場
京都東事業所
坂東記念研究所
九州事業所
東京営業所
株式会社バンディック
TOWATEC株式会社
TOWAレーザーフロント株式会社

海外

TOWA Asia - Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)
TOWAM Sdn. Bhd. (マレーシア)
TOWA Semiconductor Equipment
Philippines Corp. (フィリピン)
TOWA THAI COMPANY LIMITED (タイ)
TOWA USA Corporation (米国)
TOWA Europe B.V. (オランダ)
TOWA Europe GmbH (ドイツ)
TOWA半導体設備(蘇州)有限公司(中国)
東和半導体設備(上海)有限公司(中国)
東和半導体設備(南通)有限公司(中国)
上海沙迪克軟件有限公司(中国)
蘇州STK鑄造有限公司(中国)
台湾東和半導体設備股份有限公司(台湾)
TOWA韓国株式会社(韓国)

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布

